



出雲崎中学校だより

教育目標 「豊かな心 たくましい実践」

目指す生徒像 「わかるまで、できるまで学ぶ生徒」「お互いを思いやる、心優しい生徒」「自己に挑戦し、自ら鍛える生徒」

〈第7号〉

出雲崎町立出雲崎中学校

TEL 0258-78-2137

FAX 0258-78-2164

令和7年12月24日発行

「兆」

校長

83日間の2学期も今日で終わりです。今学期も、学習に行事に皆さんの活躍をたくさん見ることができました。そのおかげで、私も充実した日々を過ごすことができました。

さて、今日は「兆」という言葉について話をします。皆さんは、この「兆」という漢字から何を連想しますか？この漢字の成り立ちは、古代の占いが関係しています。昔は、亀の甲羅や獣の骨に火を入れて、その割れ具合から「吉凶」を占っていました。その割れた形を基にできた漢字が「兆」です。「兆」は、「きざし」と読んだりし、「何かが起きる前触れ」という意味を持ちます。

ところで、皆さんは初詣に行きますか？その時に神社でおみくじを引きますか？皆さんの中には、良くない結果が出たら嫌なので、おみくじは引かないという人もいると思います。確かに、「大吉」など良い結果の時は、うれしいですが、「凶」などが出たら、「新年早々もう今年は最悪だ」と、がっかりすることでしょう。

そんな時に、「悪い結果でも受け入れて、これ以上悪くなることはない、これから自分の力で良くしていこう」と思うか、それとも「もう何やってもダメだ」と諦めてしまうか、皆さんはどちらですか？前者のように結果を受け止め、努力した人から「兆」に「才（てへん）」が組み合わさって「挑」という漢字ができました。また、後者のように結果を受け止めずに、その場から去ってしまったことから「逃（しんじょう）」が組み合わさって「逃」という漢字ができたのです。皆さんには、ぜひ前者の「挑（いどむ）」気持ちを持って前に進んでもらいたいと思います。

令和7年もあと1週間となりました。笑顔で締めくくり、来る令和8年を笑顔で迎えられるように、そんな年末年始にしてもらいたいと思います。笑顔で前向きな気持ちで取り組めば、きっとうまくいくはずです。良い年を迎えてください。

（2学期終業式 校長の話から）



【表彰】

「県アンサンブルコンテスト」 12月7日(日) 長岡市立劇場



金賞 〈木管3重奏〉

_____ さん

—さん

_____ さん



銀賞 〈管楽8重奏〉

_____さん _____さん

____ さん 一 さん

____ さん さん

____ さん 　____ さん

「令和7年度全国中学生人権作文コンテスト新潟県大会」

優良賞 さん



「長岡地区保護司会の社会を 明るくする運動作文コンテ スト」

獎勵賞 さん



「本年は大変お世話になりました」

本年は保護者の皆様や地域の皆様、また、関係機関の皆様方から多くの御支援御協力をいただき、充実した教育活動を行うことができました。誠にありがとうございました。来年も引き続き、安心安全な学校づくりと子どもたちの健全育成のために御支援御協力をどうぞよろしくお願いします。

